

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.227
Jan, Feb, Mar, 2005

JID news

JID月報：通巻227号
平成17年1月・2月・3月号
発行日：平成17年3月31日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

第37回通常総会・名古屋開催決定	1	事務局からのお知らせ	14
平成16年度 第3回理事会議事録	2	新会員紹介	14
本部報告(事業推進担当)	4	企業情報募集	15
委員会報告(総務委員会)	5		
// (情報委員会)	6		
// (選考委員会)	6		
// (交流委員会)	8		
支部活動報告(関東事業支部)	9		
// (中部事業支部)	10		
// (九州事業支部)	11		
// (関西事業支部)	12		

平成17年6月3日・金曜日 第37回通常総会の 名古屋開催が決定いたしました

平成14・15年度以降の運営改革と共に、事業支部活動重視へのシフトは、徐々にですが明らかな成果を見せ始めています。

このような流れの中で、事業支部による通常総会の開催を望む声も高まっていましたが、この度、中部事業支部より第37回通常総会を名古屋で開催したいという強い意思表示が寄せられ、第3回理事会で審議の結果、名古屋開催が決定いたしました。折しも名古屋は愛知万博の開催や中部国際空港の開港が話題を集め、「元気な名古屋」が注目されています。また、総会の開催によって中部事業支部の活性化をいっそう促進する大きな期待に応えることにもなると思います。

何分、初めての試みでもあり、6月3日金曜日の開催を目指して、さっそく様々な準備をはじめました。

詳細はまだ未定ですが、準備が整い次第、改めてお知らせいたしますので多数のご参加をお願いいたします。

(本部情報委員会)

通常総会名古屋開催に関し

中部事業支部担当理事 安藤 清

'95IFI名古屋開催以来早10年をむかえ、あの盛り上がりが過去のこととなりはじめ、それ以降のIT化の急進により要件の処理は利便化されたが、何かむなしさの昨今協会運営もさまざまな運営改革が、時代の流れにあわせ変わりつつあるのは会員各位のご努力と感謝しています。中部の月例会のたび、総会を各地で開催できれば、あの感動の継続ができるのではと、中部よりの要望を打診いたしました。当然経費の計上もはかり、理事会において初めての地方総会に名古屋開催が決まりました。東西の方々とひざをまじえての出会いによってあの感動を再び得られることと思います。

尚6月3日(金)は愛知万博も開催中、一味違うEXPO、中部国際空港(セントレア)など、元気といわれる名古屋へ、新緑のなかご参加ください。

平成16年度 第3回理事会 議事録

日時：平成17年1月21日(金) 13:30～17:30

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会
OZONE会議室

出席：副理事長 小宮容一、阪井良種

理事 秋山修治、安藤清、岩倉榮利
吉良ヒロノブ、坂本和正、清家淳一
丸谷芳正

委任出席 川上玲子(理事長)、山永耕平

監事 川上信二

欠席 中川千年

事務局長 峰尾武

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] その他

平成16年度収支状況報告(11月末)

財務運営資金繰り状況報告

次回第4回理事会予定

平成17年3月25日(金) 13:30～16:30

II 議題

第1号議案 第37回通常総会の開催について

第2号議案 平成17年度予算編成について

第3号議案 後援・協賛名義承認の件

第4号議案 会員入退会承認の件

第5号議案 議事録署名人選人の件

峰尾事務局長より「理事総数11名中本人出席9名委任出席2名で本理事会は成立した」旨報告、川上理事長欠席のため、阪井副理事長が議長となり議事に入った。

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆ 関東事業支部(阪井)

1. 委員長会議開催(1月11日第4回) 佐藤支部長

1) 17年度事業計画について、HPや事業内容について本部理事との関係ができる場をつくる。

2) 17年度事業の収支計画の作成について、NEXT JIDやIPEC展示計画等細部が詰められず、概略予算を提出したが今後至急検討し最終案を提出。

2. 事業委員会(下島委員長)

12月25日第1回市町村支援プロジェクト会議を実施、候補の小田原市以外の関東近県市町村についてフリートーキング。

3. 研究委員会(長岡委員長)

11月12日第2回家具デザイン研究プロジェクト会議を開催、デザインテーマについてフリートーキング。

1月12日第3回家具デザイン研究プロジェクト会議を開催、17年度テーマをテーブル・卓子の方向で決定、OZONEなど大規模展示を視野に入れ検討。

12月8日第2回スケルトンインフィル研究プロジェクト会議を開催、今後の方向性を検討。

4. 総務・組織委員会(酒井委員長)

11月25日(第1回)12月21日(第2回)委員会を開催、総務活動、ACT関東、パートナーズ関東について今後の方向性等をフリートーキング。

12月22日第1回総務プロジェクト会議を開催、報告書、計画書、議事録等フォーマットを共通化、並びに規約やプロジェクトメンバーバンク等ファイル化及び配布を行う。

5. 情報委員会(早乙女委員長)

11月30日ホームページの見直しについてフリートーキング、本部・支部HPの共通イメージをどう図るか等討議。

6. 交流委員会(金杉委員長)

1月31日に委員会開催予定。

◆ 中部事業支部(安藤)

● 11月2日、扇子製作工房で勉強会を実施、製作工程2件見学。

● 11月19日、11月度役員会・連絡会を実施、(名古屋扇子展、ホームページ更新他)討議。

● 12月7日、12月度役員会・展示委員会を開催(名古屋扇子展、本部総会名古屋開催等)討議。

● 12月10日、扇子紙発送作業を行い、有志多数参加。

● 今後の予定

1月21日、新人歓迎会及び新年会を開催予定。

1月～2月、中部学生賞授与の予定(3校)

2月19日、2月度役員会・連絡会を予定。(3月25日～9月25日愛知万博開催)

◆ 関西事業支部(清家)

1. 総務部会

12月6日(月)第4回支部運営部会開催、理事会報告・部会活動報告実施。

2. 組織部会

11月17日(水)事業・賛助会。協賛企業G「中国華南地区家具セッション」報告会及び交流会開催。

1月12日(水)第4回新商品説明会事前説明会開催。

3. 情報部会

12月2日(木)「ECHO」誌担当G、第26号発行編集会議開催。その他関西通信及び号外発信。

4. 研究・発表部会

12月4日(土)展覧会担当G「日本の空間デザイン2004」学生賞表彰式及び記念パーティ開催、並びに12月9

日～14日同展協賛。

12月20日(月)セミナー担当G「四国松山におけるセミナー開催」について検討会実施。

5. ACT-Kansai

11月19日(火)新役員発表とJIDとの懇親会開催。

6. USD-O(大阪デザイン連合機構)

11月4日(木)第3回理事会・デザイン見本市案(2年後実施予定)討議、及び「日本の空間デザイン2004展学生賞」にUSD-O会長賞の授与を承認。その他ゴルフ大会3名参加。

7. 今後の予定

「ECHO」誌26号発行と新関電ビル見学会、四国松山セミナー開催等予定。

◆九州事業支部(山永理事委任出席のため文書にて)

1月8日福岡にて第2回役員会議を開催

◆本部総務委員会(秋山、小宮)

1. Jプロジェクト

プロジェクト担当・広報担当・賛助会員担当の3チームに編成、8月10社で立ち上げ確認。

2. JID会員証発行について

現物を委員会で確認、有料配布で募集を行う。

3. ニューイヤーズパーティを実施。

その他デザイン保護についてはデザイン団体協議会と今後活動を継続する。

◆本部交流委員会(坂本、山永)

1. APSDAについて

12月11日シンガポールで「APSDA緊急ミーティング」開催、坂本理事出席、報告があった。

2004年香港でのAPSDA総会がキャンセルされたことへの対応を討議。出席国は韓国、オーストラリア、マレーシア、シンガポール、日本、インドネシア、台湾、フィリピン、の8カ国。

その結果2005年5～6月頃台湾で開催、その後2006年シンガポール又は上海、2008年オーストラリア、2010年日本(JID)となっているがJIDとしては現在未承認事項である。

2. ERA05開催時(IFJ総会)の北欧デザインツアーは、9月20日出発8泊9日の間にヘルシンキ、ストックホルム、コペンハーゲンを巡る旅程で調整していく予定。

3. APSDA・IFJに関し当協会として今後の取り組み方について、次回理事会までに基本案を交流委員会として作成する。

◆本部情報委員会 インターネット(吉良)

1. 本部ホームページのリニューアルについて

1) 前回の改訂作業はほぼ完了した。

2) トピックス・ニュースはタイムリーに事務局からアップデートできるように改訂。

3) 協会情報(組織・役員・決算等)は更新済み。

4) JID賞作品及び募集要項速報を掲載。

5) 正会員の名簿掲載(氏名のみ)現在支部HPよりリンク可能。

6) 賛助会員は名簿掲載にとどめた。

7) 関連諸団体へのリンクページを制作した。

今後、会員のHPとのリンク及びバナー広告の募集を行い、又英語ページの改訂も行う予定。

◆本部情報委員会 JIDニュース(清家)

JIDニュース226号を1月発行、今後、企業情報、広告を募集。

◆選考委員会(岩倉)

JID賞応募要項の内容がほぼ決定、1月22日にデザイン並びに詳細の最終決定を行う予定。外部審査員についても、隈研吾氏(建築家)、大西若人氏(朝日新聞)浅倉与志雄氏(リビングデザイン誌)で決定。応募受付は2005年5月～6月とする。

◆事業推進担当(小宮、安藤、丸谷)

5つの基本方針を確認

1) 本部・支部事業の役割と全国展開。

2) 賛助会員・他団体との事業推進。

3) プロジェクト・プロモーション・システム(PPS)／事業推進システムの導入。

4) プロモーション「HP/Webの活用」「JID賞」「ワーク集+From JID」

5) 国際的活動の基盤づくり

以上について検討、内容、具体案等今後詰めていく。

[2] 平成16年度収支状況報告(11月末現在)

事務局長より11月末収支状況報告について説明。

[3] その他

財務運営資金繰り

財務運営資金繰りについて事務局長より説明、現状は順調に推移。

平成16年度第3回理事会予定

平成17年3月25日(金) 13:30～16:30

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれをして承した。

II 議題

◆第1号議案

第37回通常総会の開催について

第37回通常総会の開催地について、本部総務委員会と中部事業支部連名により、第37回通常総会を中部事業支部内、名古屋にて開催の提案がありこれを審議決定、実施詳細については中部事業支部が中心に、総務委員会も協力して詰めることとした。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆ 第2号議案

平成17年度予算編成について

各事業支部及び本部各委員会より提出された事業計画予算(案)を基に作成した平成17年度予算(案)につき事務局長より説明。討議を行い一部を修正確定(案)とした。今後決算予測等を考慮しながら次回理事会で決定する。

上記につき議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆ 第3号議案

後援・協賛名義承認の件(5件)

- 第33回大阪インターナショナル・ギフト・ショー春2005
平成17年3月16日(水)～18日(金)
マイドームおおさか(1・2・3階)
主催:株式会社ビジネスガイド社 協賛・継続
- JCD国際デザインコンペティション
2005年1月24日～3月4日
主催:社団法人日本商環境設計家協会 協賛・継続
- インテリアライフスタイル
2005年6月8日(水)～6月10日(金)
主催:メサゴ・メッセフランクフルト株式会社 後援・継続
- 「JIDAフォーラム」
2005年1月24日(月)
主催:社団法人インダストリアルデザイナー協会
後援・継続
- 「JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム」
2005年2月10日(木) 東京青少年総合センター
2005年2月24日(木) 大阪市中央公会堂
主催:社団法人日本商環境設計家協会 後援・継続

◆ 第4号議案

会員入退会承認の件(9件)

- 名誉会員(1件) 理事長推薦
鈴木慶一(旧NO.141)(関東)
1961年3月入会(43年在籍)
平成16.3.26 平成15年度第4回理事会で退会
- 正会員 入会(2件)
中村潤治(関東) 推薦人:高田公平、岩倉榮利
中嶋泉 (関東) 推薦人:早乙女明子、峰尾武
- 正会員 退会(1件) 0567 岩瀬光男(関東)
- 正会員 退会(4件)
以下定款第8条2項(4)により退会したものとみなす。
0889 金澤昭夫(関東) 退会届なし(定款8条2項4)
0531 藤田幸治(関東) 〃
0964 中村憲二(中部) 〃
1212 藤本賢一(関西) 〃
- 賛助会員 退会(1件)
以下定款第8条2項(4)により退会したものとみなす。
3069(株)バンタンデザイン研究所
退会届なし(定款8条2項4)

◆ 第5号議案

議事録署名人選人の件

議長は吉良ヒロノブ、小宮容一両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成16年度第3回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び議決事項を記するため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 阪井良種

議事録署名人 吉良ヒロノブ、小宮容一

本部・事業推進担当・報告

事業推進案05

事業推進担当理事 丸谷 芳正

去る1月21日理事会にて、事業推進のための、5つの基本方針が討議の上確認されました。以下、概要を説明いたします。

5つの基本方針

[1] 本部・支部事業の役割と全国展開

- 本部独自の事業:「JID賞」「国際交流」「HP/Web」「JID News」「新年会」「会員拡大」「デザイン保護」「会員名簿」等
- 支部事業:基本的に上記以外の事業は支部が行う。

[2] 賛助会員・他団体との事業推進

- 賛助会員との協力事業:「新製品説明会」「J-プロジェクト」他。
- 他団体との共同:「IPEC」「IFFT」他。

[3] プロジェクト・プロモーション・システム／事業推進システムの導入(右図参照)

すべての事業を効率よく計画し運用するためのシステム。本部・支部・会員レベルで常に全体が把握し利用出来るよう情報を公開していく。

[4] プロモーション「HP/Webの活用」「JID賞」「ワーク集+From JID」等

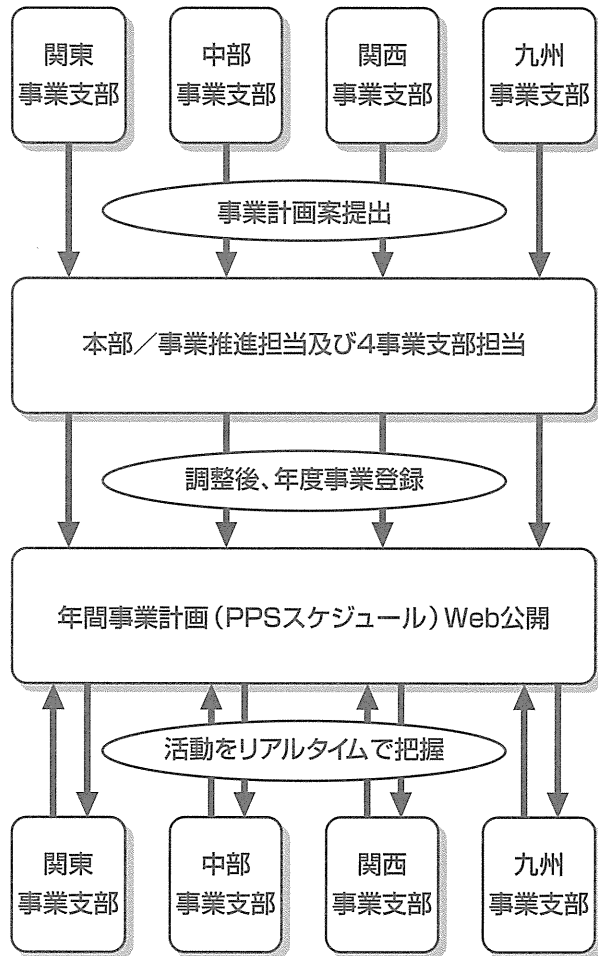
各事業、会員ワークをプロモーションしていくためのツールとしてHP/Web、JID賞、ワーク集+From JIDを十分に活用していく。

[5] 国際的活動の基盤づくり

JIDの国際的役割と意義を認識し、具体的かつ実現可能な活動目標を設け、JID全体の活動として位置付けを明確にする。

- IFI: ERA05 (ヘルシンキ9/22-28) IFI総会出席者への支援、Design For All Award応募の呼びかけ、newsletterへの投稿、WING日本開催など。
- ASPDA: 今後の活動を検討する。

Project Promotion System 概念図



平成17年度では事業推進システムを確立することを目指したいと思います。

平成17年度に事業推進案を導入するにあたり、手始めに本部・支部から提出された各事業計画案をもとに平成17年度年間事業計画の作成いたします。これをもとにしたPPSスケジュールをWeb上で公開しJID全体の共有情報として活かします。

例えば「JID賞」を各支部のイベントにパネル展示するといった全国展開も考えられます。わずかですがそのような予算も計上しました。また、同じようなタイプの事業であれば支部間での情報交換、成果物の共有活用などに大いに利用して頂きたいと思えます。

翌平成18年度からは長期的視野に立ちインテリアデザインの向上、デザイナーの地位向上のために共通目標を掲げたいと考えております。現在、5ヵ年計画を準備中です。つきましては、会員皆様のご協力を仰ぐ次第です。

委員会 報告

総務委員会

担当理事：秋山修治

委員長：伊藤公一

2005 New Years Party のご報告

JID 2005 New Years Party は、1月21日東京・西新宿、新宿パークタワー「クラブスクエア」で開催されました。開会挨拶に立った小宮容一副理事長が病氣入院中の川上玲子理事長のメッセージを代読した後、JID賞の再開、第37回通常総会の名古屋開催など、同日開かれた理事会決定事項を報告。

来賓代表として経済産業省製造産業局デザイン・人間生活システム政策室、三浦健太郎室長のご挨拶に続き(社)日本パッケージデザイン協会、川路ヨウセイ理事長の乾杯によって、新春を祝う懇親の和やかな宴が始まりました。このあと新入会員、新入賛助会員の紹介や、インド洋大津波義援金の呼びかけなどを交えて、楽しく有意義な New Years Party は、阪井良種副理事長の中締めをもって盛会の裡に幕を閉じました。

司会をつとめられた安竹麻智さん、冨田恵子さんお疲れ様、ありがとうございました。



[川上玲子理事長メッセージの要旨]

昨年来、国内外に大きな不幸の続く中で、日本経済は徐々に回復しつつあるが、われわれはバブルの崩壊をデザインの原点に戻るための天の啓示と捉え、いま国際的にも注目される東洋の美意識、日本のここに焦点を当て、これまでに築き上げた日本独自の文化、資質を十分に活かした新しい生活デザインの創造へ前進しよう。

また本年は北欧で開かれる新世紀初のIFI、ICSID、ICOGRADA合同会議(ERA05)にも積極的に参加してJID活動の場を広げるとともに、3年後に迎えるJID創立50周年に向けて、更なる発展に努力していきたい。

委員会 報告

情報委員会 (インターネット)

担当理事：吉良ヒロノブ
委員長：鳥井貴正

JIDホームページリニューアル

すでにご覧いただいている方も多くいらっしゃると思いますが、JIDのインターネット・webページを全面リニューアル致しました。今回は、多くの皆様からのご意見をもとに、ページ構成の見やすさと、ページ内検索の容易さをテーマにデザイン致しました。

派手さや、目新しさは少しもの足りないかもしれませんが、公式ページとして、幅広い層の方にご覧いただけるページを目指しています。

また、今回から「NEWS」用のコラムをトップページに配置し、タイムリーな情報提供ができるように致しました。最新の情報はこちらからお知らせしてまいります。

英文ページのリニューアル等、まだ未完成の部分も残っておりますがぜひ一度ご覧いただいて、皆様からのご意見・ご要望をお寄せいただきたいと思います。

さらに内容の充実を進めるためにもご協力をお願い致します。

ご意見・ご要望は本部事務局 (head@jid.or.jp) までお寄せください。

ホームページアドレス <http://www.jid.or.jp/>

情報委員会

担当理事：清家淳一
委員長：八十常充

2006年版「会員ワーク集発行企画」

情報委員会では年度末の会員ワーク集発行に向けて準備に入ります。第1段階として、3月25日の理事会で各事業支部へ担当者の選出をお願いします。

それを受けて、新しいワーク集へのビジョンを各支部毎にまとめて持ち寄り、ワーキングメンバー全員によるキックオフを6月の総会(開催地名古屋)前後に行います。

全体スケジュールは後日お知らせいたしますが、会員の皆様は応募作品についてご準備の程宜しくお願い致します。



- Top
- Activities
- Members
- Organization
- Links

- Kanto
- Chubu
- Kansai
- Kyushu

社団法人日本インテリアデザイナー協会

社団法人日本インテリアデザイナー協会は、1958年に結成され、日本を代表するインテリアデザイナーの団体として、近代デザインの半世紀を支え、生活環境の向上を使命として活動を行ってまいりました。

創立45周年を迎え、21世紀の環境形成に向かう記念事業を企画・実施しております。

デザインを軸とする45年の活動と伝統をふまえ、次世代の生活文化形成に努力いたします。

JIDとは

社団法人日本インテリアデザイナー協会は、1958年に結成された日本を代表するインテリアデザイナーの団体です。これまで、近代デザインの半世紀を支える幅広い活動を行ってきました。メンバーはインテリアデザインを中心に活動するデザイナー、教育、研究などインテリア関連業務に携わる会員と、さらに関連企業、教育、研究機関などからなる賛助会員によって構成されています。

その活動は、国の内外を問わず、インテリアデザインを通じて生活環境の向上と問題の解決を計ると共に、将来性のある環境形成へのデザイン意識を高め、社会に貢献することにあります。そのため、個人、団体はもちろん、様々な国と意識や方法、技術などの確立のための交流、連携を促す幅広い実践が続けられています。

21世紀を迎え、世界とデザインを取り巻く環境は大きく変化し、新たな枠組みが要求されています。JIDはIFI(国際インテリアデザイナー団体連合)およびAPSDA(アジア・パシフィック・スペースデザイナー・団体連合)の会員として、国際社会の一員としての役割を充分に担い、積極的な国際活動への参加に、意欲を目標とします。

これからもJIDは、日本の文化を背景に立場と責任をふまえ、積極的な活動を続けます。

社団法人日本インテリアデザイナー協会
理事長



2006年 JID賞 ビエンナーレ 募集情報

募集要項・応募票のダウンロードが出来ます。

[News]

2005年02月09日(水)
2006年 JID賞 ビエンナーレ

2006年 JID賞 ビエンナーレの募集要項・応募票をPDFファイルで提供開始しました。
【News】の上にある「2006年 JID賞 ビエンナーレ 募集情報」ページからダウンロードできます。

2005年01月25日(火)
APSDA緊急会議報告を掲載しました。

APSDA(環太平洋スペースデザイン協議会)緊急会議の報告を掲載しました。
「ニュース」の「Activities(活動)」を「11月のJID賞」ページからダウンロードできます。

ご入会申し込み

お問い合わせ

リニューアルしたホームページ

委員会 報告

選考委員会

担当理事：岩倉榮利
委員長：木村戦太郎

新JID賞へのご応募、お待ちしております。

早いもので、今年も3月半ばを過ぎましたが、皆様の2005年は如何でしょうか。

さて、新JID賞の応募要項がお手元に届いたと思います。応募要項の送り状にも書きましたが、JIDでは、JID賞2002を一つの区切りとしてJID賞のあり方・実施方法等について再検討を続けて来ましたが、そして新JID賞では、余裕のある審査期間の確保と効果的な広報活動等を意図して応募対象期間を2年間のビエンナーレとし、若手デザイナーに広く門戸を開くために学生賞を廃して新人賞(35歳未満)を設けました。

さらに、JID賞を通じてインテリアの重要性・デザインの力を社会に発信することを志向して、特別審査員にデザイ

[illegible]

委員会 報告

交流委員会

担当理事：坂本和正
委員長：小野由記子

スマトラ沖大地震・津波支援

現在、義援金を募っております。昨年12月26日に発生したスマトラ沖大地震とインド洋大津波。

それは突然に襲い、被害は痛ましく報道が進むにつれ悲惨な状況が拡大してまいりました。JIDも参加しているAPSDA(ASIA PACIFIC SPACE DESIGNERS ASSOCIATION)参加国のインドネシアやマレーシアで多くの人命が失われ生活基盤が崩壊しました。またインドネシアのアチェ地区では貴重な文化遺産の多くが失われたと聞きます。

日本国内でも津波発生直後から支援活動、募金運動が行われており、JID会員の皆様もすでにさまざまな形で支援にかかわっておられる事でしょう。

今回の募金は特にJID会員の気持ちの顕れとしてAPSDA事務局のPIID(Phillippine Institute of Interior Designers)を通しHDII(Indonesia Society of Interior Designers)とMSID(Malasia Society of Interior Designers)にお渡しするものです。

最も困難な状況に対して局所的ではあっても効果的に活かされると確信しております。つきましてはJID会員の皆様のご賛同とあたたかいご支援をアジアの友人達にお送り頂けますようお願いいたします。

●受付期間 平成17年3月1日～4月30日迄

●義援金振込先

(振込口座) みずほ銀行 新宿パークタワー出張所
普通1073663

(口座名義) 社団法人日本インテリアデザイナー協会

北欧デザインツアー

9月21日から北欧3ヶ国、デンマーク、フィンランド、スウェーデンで世界最大のデザイン会議

ERA05が、IFI(国際インテリアデザイナー団体連合)、ICOGRADA(国際グラフィックデザイン団体協議会)、ICSID(国際インダストリアルデザイナー協会)の協賛によって開かれます。詳細はwww/era05.comをご覧ください。JID交流委員会ではこの機会に、プロの為に北欧のデザインツアーを企画いたします。

●スケジュール

Aコース：9月24日(土)～29日(木)

デンマーク4泊6日・料金265,000円

Bコース：9月22日(木)～28日(水)

スウェーデン・デンマーク5泊7日

料金308,000円

Cコース：9月20日(火)～29日(木)

フィンランド・スウェーデン・デンマーク8泊10日

(船中1泊を含む)・料金382,000円

- 何れも9月26日(月)ERA05全体会議に出席
- 利用(予定)SK:スカンジナビア航空(成田発着)
- なおスケジュール、料金など、詳細に関しては現在調整中ですので、決定次第改めてお知らせいたします。良い機会ですので、JID会員、賛助会員はもとよりインテリア関連の方々へもお知らせください。

APSDAの現況

2004年12月11日APSDA[環太平洋スペースデザイン協議会]の緊急会議がシンガポールに招請され、急遽交流担当理事の坂本和正が出席した。座長は韓国のMIN氏(現IFI理事長)。JID-日本、KOSID-韓国、DIA-オーストラリア、MSID-マレーシア、IDC-シンガポール、HDII-インドネシア、CSDI-台湾の全七カ国代表メンバーが出席した。

✓町並保存された中華街の後のハイテクビルに移転してきたIFIの事務局



シンガポールAPSDA緊急会議参加国メンバー

議題は、04年秋に開催予定していた香港での定期総会が流れ、事後処理と今後の課題をどうするかだった。香港のジョン・ボーデン氏が個人的に参加、香港内部で組織の調整がつかず約束した総会がキャンセルに至った経緯を釈明した。

次回のAPSDAの総会をどこで行うかを討議、台湾が名乗りを上げ、準備を進めることを決議した。

その後2005年5月30日～6月3日台北で総会と講演会、展示、ステューデンツワークショップを開催するとの連絡が入っている。チェアマンは中華室内設計協会王明川理事長である。

尚、IFI事務局が南アフリカからシンガポールに移りアジアとより密接になりました。この際、JID会員の皆様のAPSDA、IFIに対するきたんのないご質問ご意見を交流委員会まで是非お寄せください。

JID関東事業支部 17年度委員会活動始動

関東事業支部 支部長 佐藤 健一

JID関東事業支部では16年度に2回行われた関東事業支部全体会議「NEXT JID」に基づき、様々な視点から協会活動の有様を数ヶ月掛けて討議し、色々な点の改良、改善を計ってまいりました。そのようなタイトな状況の中でも、東京ビッグサイトにおけるIPEC21-2004のJID展示ブースを関東事業支部が担当し、各委員長が一丸となって計画に当たり、2万人に近い来場者の中で協会をアピールすることができると共に、協会会員ワーク集も3日で35冊販売という好結果に結びつけることができました。しかしこれに満足することなく、関東事業支部各委員会は17年度に向けて今まで以上に精力的に動き始めましたことを、かいつまんでご紹介したいと思います。

IPEC21-2004のJID展示ブースを担当した支部事業委員会では下島資子委員長を中心として、エンドユーザーを対象とした6回におよぶシリーズセミナーを企画し、すでに7月から実施の運びとなっています。またもうひとつの事業企画としては市町村支援事業があり、すでに小田原市に接触したり、結城紬の結城市に下調べする計画も進行しています。どこか協会として支援すべきと思われる町村をご存じでしたら事務局あるいは支部長にメールいただきたいと思います。



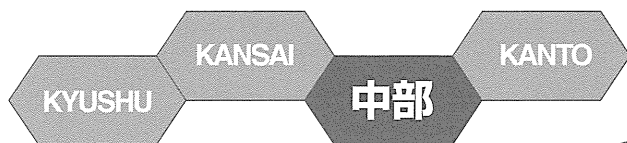
支部総務・組織委員会では新任の酒井正人委員長も活発に動き回り、JIDアクト関東の再編やJIDパートナーズ関東の具体的な事業の実施を計画しています。また同時に総務事業として議事録、年間スケジュール表、事業収支報告書、プロジェクトメンバーバンク登録書など各種書類のフォーマットの見直し、作成を進めています。(右図)

一方、支部研究活動委員会では新しく家具研究プロジェクトを立ち上げた長岡貞夫委員長の元、家具をテーマとした壮大な展示企画を計画中ですが、これは単に関東に留まらず、「ALL JID」を視野に入れ、他支部の会員の参加も検討しているところです。規模が大きい展示のため、17年度はその準備となり、実施は18年度になると思われます。

その他には金杉哲男会員が新しく委員長に着任した支部交流委員会では手作的体験企画も具体的な内容に移り、他にもセミナーや交流事業を企画しています。同じく新任の早乙女明子会員が委員長の支部情報委員会では本部のホームページ改訂に合わせて支部のホームページのあり方や表現を検討し、改訂する予定です。

これら以外にも関東事業支部の顧問として積極的に参加されている泉修二会員も独自に大規模な展示会のテーマを熟慮中で、今後も楽しい状況が関東では生まれてきています。私も支部長として期待に添えるよう尽力して参りたいと考えております。

JID 関東事業支部 委員会 議事録		発行日 05年1月13日
〇〇プロジェクト 04年度第 回会議 (SAMPLE)	出席者: 〇〇〇〇	欠席者: 〇〇
日時: 2005年 月 日	場所:	
出席者: 委員長/		
欠席者:		
議題	●議事録フォーマット使用マニュアル●その他	
配布資料	1枚	
討議事項	1) 議事録作成について (フォーマットはエクセルで作成しています。基本部分は加工せずに使ってください) ・委員会名を記入 ・プロジェクト名及び年度と会議の回を記入 ・日時、場所、記録者、出席者、欠席者を記入 ・発信は記録者が作成した後、委員長(プロジェクトリーダー)に送付、委員長(プロジェクトリーダー)が確認の上発信する。 ・発信日を記入 ・議題: 主要な議題を1~2記入、あとはその他で処理する。 ・配布資料: 当日配布した資料の枚数を記入 (使用可能な行の最大文字数は10ポイントで約50文字です。印刷プレビューで確認しながら打ち込んで下さい) ・討議事項: 内容は枠の中で自由に記入して下さい。 (使用可能な行の最大文字数は10ポイントで約50文字です。印刷プレビューで確認しながら打ち込んで下さい) ・次回会議予定: 日時、場所、議題を記入 ・議題のスペースは2行まで使えます。 ・返信は記録者・プロジェクトリーダー・担当委員など、適宜使ってください。 ・配布先: 委員会関係者内に出した方々全員 (事務局の部会と会員番号を添えて下さい) - 及び、理事長、担当理事、関東正副支部長、関東支部正副委員長、他3支部長 2) 議事録送信について ・このフォーマットを使い①Netで送信②Faxで送信は、どちらにするか使い分けて下さい。 ・このフォーマットは、討議事項の内容部分が「印刷プレビューで確認しながら打ち込んでください」(使用可能な行の最大文字数は10ポイントで約50文字です。印刷プレビューで確認しながら打ち込んで下さい) ・Net送信する場合WinとMacとの相互送信は完全ではありません。WinからMacに送るとMac側では画面が拡大され、逆に、MacからWinに送ると縮小されてしまう。と云う問題が起こります。この問題は送信を受けた側で拡大・縮小の調整で略解決するのですが大変面倒です。よって、作成に当たってはWinとMac両方のフォーマットを用意していますので、WinとMacの相互送信はFaxを併用して下さい。 ・Net送信はWinからWin、MacからMacを原則として、WinとMacの相互送信はFaxを併用して下さい。 ・Macで作成した原稿はPDFでWinに送信することが出来ます。受信原稿は加工できませんので、あと送信・配布はFaxで行ってください。	
次回会議予定	(このフォーマットは、討議事項の内容部分が「印刷プレビューで確認しながら打ち込んでください」(使用可能な行の最大文字数は10ポイントで約50文字です。印刷プレビューで確認しながら打ち込んで下さい)) 日時: 2005年 月 日 (火) 6:30pm~ 場所: 事務局 〇ZONE会議室 議題: JID議事録フォーマット使用マニュアルについて。 出席 / 欠席 氏名: () 内	
配布先	●〇〇委員会/〇〇プロジェクト委員 委員長/〇〇(0123) 〇〇(0821) ●本部: 理事長、担当理事 ●関東支部: 正副支部長、正副委員長 ●他3支部長	



JIDNEWSCHUBU

ドイツGlass Art 報告とセンス[扇子]展

中部事業支部 事業委員長 金田 美世

ただ今、愛知万博サテライト事業 長久手町ワートルロー市共同館のためのグラスアートをフランクフルト郊外マイン川近くの小さな村の工房で制作中です。(写真右)

3年前、東海地震強化地域に建つ中学校の依頼を受けた時、同時期にセキュリティガラスを使用した米国コンサルタントのレクチャーに驚きと感動を覚え言葉もままならないのにドイツに飛んで制作したのが始まりです。

去年はまたメッセ・フランクフルトのライト&ビルディングに私のデザインしたアートボックスを出展したりとドイツに行く機会が増えました。

この工房では世界中からガラス作家、建築士がセキュリティガラスをベースに村の教会から巨大飛行場等までさまざまな企画を持ち込みグラスアートをデザインし、それぞれの国へ旅立っていくのです。

アンティークガラスなどに、エッチング・エアースプレー・シルクスクリーン・ヒュージング・サンドブラスト等を駆使して日本画調からコンピュータグラフィックまで、ほとんどのイメージが透過色ガラスで制作可能になってきました。

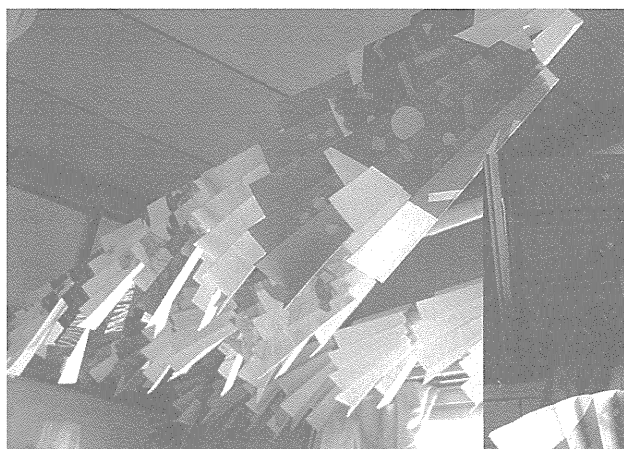
私の万博作品はベルギーの記念館にある世界一大きな油絵(ワートルローの戦い図)の一部をグラスアートにデザインいたしました。

是非、皆様愛知万博へ(いりゃーせなも。。。)

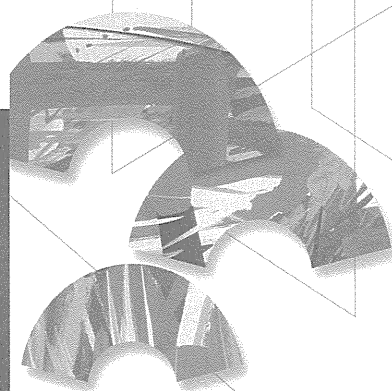


尚、3月30日から「センス(扇子)のあるインテリア展」が関東、関西の会員も多数参加して、名古屋国際デザインセンターで開催されます。舞扇の部では、現役最高齢名古屋扇子折職人の91歳になる私の母と私が紙加工を受け持っております。すでに60本のうち、40本以上の力作を加工させていただきました。作業中には会話がはずみ思わぬ所で親孝行が出来ました。作品展の御協力と共に皆様に感謝と御礼を申し上げます。

ガラスと扇子(どちらもおもしろいがね。。。)
もの作り名古屋の娘?より



SENSU&INTERIOR EXHIBITION
NAGOYA PARK INTERNATIONAL DESIGN CENTER 4F DESIGN GALLERY March 30 - April 4, 2005



センス[扇子]
のあるインテリア展

1部/舞扇・2部/立体作品・3部/JID中部会員集合作品
2005年3月30日(水)→4月4日(月)
AM11:00~PM7:00(最終日PM5:00)
国際デザインセンター 4F デザインギャラリー

九州

KANSAI

CHUBU

KANTO

JIDNEWSKYUSHU

九州支部の「アクト」とのかかわり

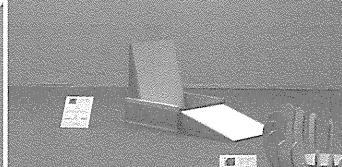
九州事業支部 担当理事 山永 耕平

昨年、第52回九州家具展事務局より出展のご依頼をいただき今年1月12、13日に開催された九州家具展に、わが九州産業大学デザイン学科の学生たちが参加することになった。今回の機会は、江島会員の紹介により実現したものであり、12月の年の瀬もおしこまらる中で、4年生は卒業制作等の追い込みでごった返している中、3年生を中心にした学生たちには良い機会をいただき、2002年以来の東京デザイナーズ・ウィークTDW「すわるかたち」学生展に発表した作品を出品することになった。



「すわるかたち展」

Kyushu
Sangyo
University
芸術学部・デザイン学科



TDW出品も昨年で3回目を迎えたが、回を重ねるうちに、やはり、どうしても人の目を引くものとか、アイデアのおもしろいものとかが多くなり、目立つようになってきた。指導する側もじっくりと時間をかけた指導より、多くの大学の中で、より目立つものとなってしまうがちになる。しかしこれをきっかけとしてその後、深くデザインの世界にのめりこんでいく学生が育っているのは頼もしいかぎりである。日本経済の高度成長期のころ、10年、20年先のことなど考えるゆとりさえなかった。不健康食品の山に、公害の垂れ流し、バリアフリーや人に優しいデザインなど考えるゆとりさえなかった。

しかし、今確実に時代は変わっている。20年前30年前に同じように育った卵たちがいま社会で孵化しているように、今日、それだけの年数がたってみて思うには、デザインが本当に実るには、1年や2年、いや10年でさえ早すぎたのではないと思われる。しかし世の中大半は未だにデザイン、デザインと今すぐにもでもブランドが立ち上がるような風潮である。そちらの方が若者には魅力的に見える。アイデアスケッチにクロッキー帳を何冊も消化し、五分の一スケールの模型を何個も作って確認し、いくつもの試

作品を作ってデザインを完成させるなんていうやり方が通用するはずもなかった業界の中で、今日ようやくそういった考えが定着してきたのではないであろうか。

ここに2002年に初めてTDWに参加した学生(当時研究生でユースの会トライの代表)吉田健吾君の椅子を一つ紹介しておきたい。学生らしくないといった批評もないことはないが、学生らしいとはなにかと聞かれてもはっきりした答えはないはずだ。2000年の九州インテリアデザイン展に始めて学生の参加を呼びかけて、当時スツールをテーマにした授業の作品を出品したところ大きな反響が



吉田健吾 作品

あり、それ以来、学生たちがずいぶん社会に目を向けるようになった。その経験が実は東京デザイナーズウィーク参加へと繋がっていったのであるが、今後もこういった若いデザイナーの卵たちを育てる役割をになう活動を提案したい。実際、下田会員には卒業生としてTDWの最初から、学生作品の選抜やアドバイス役としてかかわっていただいているし、エーディ・コアの瀬戸氏には、関東支部ではあるが、福岡出張の折に、何回となく学生を鼓舞していただいた。飯田支部長とも話を交わしているが、時間的な問題とか、イベントの内容などから、どうしても手っ取り早い我々の身近な学生たちに限られてしまうので、なんとかして福岡は勿論、あるいは熊本など九州各県にあるデザインの大学や専門学校などにも声をかけていくゆとりを持つ必要性を感じている。

昨年「トライ」から全国共通の名称になった「アクト」の会を立ち上げて、卒業していった若いデザイナーを結集させるなど、実際には表に出ない日ごろの積み重ねの中に本当のデザインが育まれていくということを忘れてはならないと思っている。そんな中に育まれたエネルギーが次の大きなイベントへと発展していくことを期待したい。

日本の空間デザイン2004

関西事業支部 展覧会グループ 七條 健



大阪南港ATC、デザイン振興プラザに於いて、12月9日より14日の一週間「日本の空間デザイン2004」が開催され、好評の内に幕を閉じました。JID賞がビエンナーレ方式となり、今回はその展示が行えませんでした。関西事業支部の正会員6名の気迫みなぎる作品がJID賞に勝るとも劣らない内容で展示されました。

また、第2回を迎えた学生作品賞も、今回から公募方式に切り替わり、関西の5大学から30点の作品応募があり、厳正な審査の上、会場に展示しました。受賞者の顔ぶれは以下に記しますが、USD-Oから特別賞として会長賞を頂き、11日のパーティーに先立って行われた授賞式では、清家支部長より授与される受賞者の表情は、暗れ晴れとした初々しさを感じました。

経済情勢悪化の中で、あらゆるイベントに於いて参加社の減少が目立ちます。企画そのものにもマンネリ感を感じておられるのかもしれませんが、デザイン活動の一年間の集大成を発表する場として、多くの方が利用して頂けるよう努力して参りたいと思っています。

第2回学生作品賞受賞者

金賞	川中祐介(京都市立芸術大学)
銀賞	増田結子/魚田裕子/吉岡明喜子 (武庫川女子大学)
銅賞	大関恭子(武庫川女子大学)
USD-O会長賞	向尚美/水沢直子(武庫川女子大学)
奨励賞	奥田裕久(芦屋大学) 他7名

USD-O デザイナーズ初春の集い

関西事業支部 支部長 清家 淳一



2005年2月3日(水) ガーデンシティクラブ大阪で、暗闇の中から岩佐堅志氏の奏でる龍笛(りゅうてき)が会場を一瞬にして新春の雰囲気引き込んだ。2005年「USD-Oデザイナーズ初春の集い」のオープニングである。

Ladies and gentlemen... JID会員塚口さんの司会が大阪デザイン連合機構(デザイン10団体)7年ぶりの新年会開催を宣言した。会場には会員及び来賓も含めて約80名、盛大な関西デザイナーの集合です。

副会長藤田幸一氏の案内で来賓代表坂下清(財・大阪デザインセンター理事長)氏壇上に、乾杯の杯を高々と上げ和やかな宴に入る。

歓談の後に第二部の始まりです。大阪デザイン連合機構会長西尾直氏の挨拶からご来賓紹介に関西の重鎮続々登場、関西デザイン業界の歴史を感じる。

司会がシーンを一転、ポルトガルギターとボーカルFado(ファド)のライブショーの始まりです。明るい激しい曲や哀愁のメロディで会場を魅了し興奮さめやらないなか、副会長山田崇雄氏壇上へ、事業ビジョン発表です。

2006年にデザイナー博覧会へ向けての宣言と、ご協力をお願いしフィナーレとなりました。

華やかな初春の集いはデザインをベースに益々の発展をしていくことでしよう。いや発展をすることが新しい文化を創ることだと思います。

第4回「企業による重点商品及び新製品説明会」開催の報告

関西事業支部 組織部会長 高瀬 守博

2月4日、今回もアイカ工業(株)様より会場を提供して戴き、午後1時～ショールーム見学、2時～セミナールームにて標題説明会、午後5時～懇親会・JID関西新年会をとり行いました。参加者はJID及びACT会員14名、一般8名、企業5社12名の計34名。以下、内容概略。



【リカラ(株)】「ウィリアムモリス」のデザイン及び天然「葛」使用の「デザイナーズギルド」の壁紙。「ペット住まいる…壁紙とフロア」、ウィンザー城使用の伝統的塗料「FALLOW&BALL」。

【(株)サンゲツ・大阪店】「床材総合カタログ2005年度版」、カーテン新サンプル帳「ソレイユⅡ」のデータ更新とカバーラインアップ。「ロマネ」「アリア」「ビサイド」と「椅子生地」と合わせ、充実したテキスタイルシーン。

【大光電機(株)】高効率で高画質な配光を実現したオリジナルハロゲンランプ「ジェニックハロゲン」。標準色、低色&高色温度、ネオジウム、長寿命タイプの5バリエーション全34タイプ。

【株式会社セルコンテクノス】廃床材リサイクル循環システム「e-RECYCLED」による商品化の第1歩「ハイテクポイント・エコシリーズ」(‘03年8月エコマーク商品認定)。

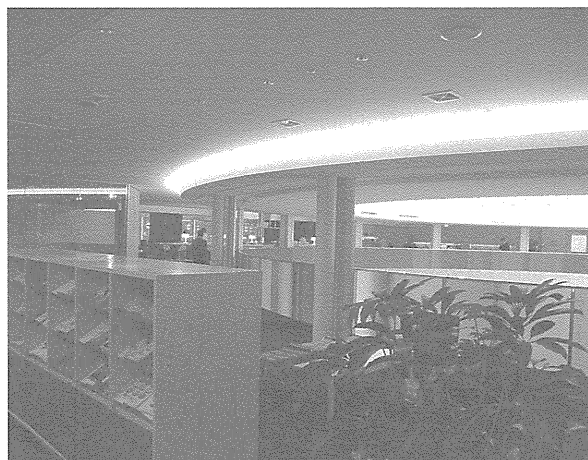
【アイカ工業(株)】インテリアとライフスタイルをお洒落に演出させるキレイ且つかっこよく、機能的なパーツ。

来年度、第5回以降について、継続と規模拡大のために…商品開発に関するデザイナーと企業の情報交流機会として機能する。在阪デザイン団体への早期企画告知・参加呼びかけを検討中です。(以上敬称略)

2005.02.09 関電ビルディング見学会

関西事業支部 塚口 眞佐子

再開発の勢いが目覚ましい中之島西部地区。大阪大学医学部や病院の跡地を中心に意匠性豊かなビルが最近次々と姿を現わしている。国立国際美術館、住友病院、そして今回の見学先41階の高層、関電ビルである。



4F ミーティングプレイス

エネルギー産業らしく環境共生のモデルとして設計されたという。高コスト建築であることはさておき、夏場の冷房負荷の緩和を意図した柱梁グリッドの外観デザインは、彫が深く端正な印象。必要な所だけのインテリジェント照明や空調などさまざまな仕掛けも企業姿勢をアピールする。

その一つが一般に開放されているミーティングプレイス。ホスピタリティをコンセプトに取り入れたという。図書コーナーやカフェ、打合せテーブルにコピー機。これは使える。吹抜けに面し静かで快適である。「豪華高層ビルで打合せ」も、ここなら誰でもカッコよく実現する。

最近、このホスピタリティということばをよく耳にする。一般には「もてなし」と同義語とされ、個人の力量や精神的なものと取られがちであるが、顧客満足度(CS)に深く関わる要素として、あらゆる業種の企業や組織でマネジメントに取り入れられつつある。そして今回、代表的ビッグカンパニーで、公式の説明としてホスピタリティということばが語られ始めた意味は大きい。インテリアデザインを業とするわれわれにも示唆に富む話だ。

夕日が望めるという4Fレストラン、ロイヤルホテルの運営である。見学会終了後、夕日にはまだ少し間があったが、ビールでのどをうるおすことになった。ホテル価格らしくないビルにホスピタリティを感じてしまった私。

やっぱり…。

事務局からの お知らせ

会員異動のお知らせ

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆正会員

会員番号0451 岩倉 榮利 会員名簿・関東p.4
・事務所移転 〒107-0061 東京都港区北青山3-6-1
ハナエモビル5F
Tel:03-5464-6911 / Fax:03-5464-6910

会員番号1187 上山 佳宏 会員名簿・関東p.4
・勤務先移転 〒151-0066 東京都渋谷区西原3-2-2
クボタビル4F

会員番号1102 大淵 澄夫 会員名簿・関東p.4
・自宅 事務所
移転 アトリエ・O
〒120-0025
東京都足立区千住東2-20-12-1214
Tel:03-3879-0183

会員番号1081 荻田 幸子 会員名簿・関東p.5
・自宅 事務所
移転 〒151-0065
東京都渋谷区大山町40-9-202

会員番号0614 梶田 尚令 会員名簿・関東p.5
・勤務先変更 EEP研究所(自宅住所と同じ)
・Eメール変更 kajitam@khaki.plala.or.jp

会員番号0247 中川 帛子 会員名簿・関東p.10
・FAX番号変更 Fax:0247-71-1130

会員番号1170 福田 忠男 会員名簿・関東p.12
・勤務先移転 〒331-0811
埼玉県さいたま市吉野町2-189-3

会員番号0785 藤平 剛 会員名簿・関東p.12
・勤務先移転 〒141-0032 東京都品川区大崎1-17-17
Tel:03-5436-1012 / Fax:03-5436-0039

会員番号0666 保科 和夫 会員名簿・関東p.13
・自宅 事務所
移転 〒158-0084
東京都世田谷区東玉川1-5-13

会員番号1129 渡部 式部 会員名簿・中部p.17
・FAX番号変更 0566-21-2727

◆賛助会員

会員番号3143 株式会社イリア 会員名簿・賛助p.27
・住所変更 〒107-0052 東京都港区赤坂6-5-16

会員番号3141 会員名簿・賛助p.27

社団法人インテリア産業協会

・担当者変更 事務局長 勢田 修

会員番号3059 会員名簿・賛助p.28

高島屋スペースクリエイツ株式会社

・担当者変更 松本

会員番号3110 会員名簿・賛助p.29

株式会社フジエキスタイル

・担当者部署変更 執行役員商品開発部長
山本 信比古

新 名誉会員

鈴木 慶一

川上玲子理事長推薦

◆会員番号0141(関東事業支部) 1961年入会
〒232-0000 横浜市南区大久保町563-59

新会員 紹介 正会員

①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所 ⑤自宅



①中嶋 泉

なかじま いずみ

②1254(関東事業支部)

③早乙女明子・峰尾武

④〒279-0013 千葉県浦安市日の出6 ベイシティH-905
Tel/Fax:047-354-1702

Email: delfi-izumi@s4.dion.ne.jp

⑤同上



①中村 潤次

なかむら じゅんじ

②1255(関東事業支部)

③高田公平・岩倉榮利

④株式会社レピス

〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町15-2

Tel:03-5458-5230 / Fax:03-3780-9535

⑤〒111-0056 東京都台東区小島1-2-2-301

今後のご発展とJID活動でのご活躍を期待しています。

賛助会員の皆様へ

企業情報を募集いたします

—— 企業情報コーナー新設のご案内 ——

A: 1/2ページ (175mm×175mm)

JID AWARD 2006 BIENNIAL

2006年 JID賞 ビエンナーレ

応募締切り
2005年
6月30日

JID 社団法人日本インテリアデザイナー協会

※掲載のご参考に

B: 1/4ページ (85mm×130mm)

- JID Newsに賛助会員の皆様とJID会員との情報交流の場を設けました。
企業コンセプト、新製品の発表、各種イベントなどの情報を会員デザイナーへ効果的に伝達するプロパガンダ・ツールとしてご活用下さい。
- JID Newsは発行部数1000部。正会員、賛助会員、ACT会員、デザイン団体、企業、関係官庁など年4回(4月・7月・10月・1月)全国に配信しています。
- 若干の掲載料を頂きます。A: 1/2ページ ¥20,000
B: 1/4ページ ¥10,000ですが、JID News発行の経費補助として役立てます。ご協力下さい。
- 申込期日: 発行1ヶ月前(次回5月30日・7月発行分)
- 申込先: 〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F JID本部事務局
Tel. 03-5322-6560 Fax. 03-5322-6559
- 貴社名/部署/担当者/連絡先電話番号をお知らせ下さい。詳細を連絡させていただきます。

JID News 編集委員長 八十常充

JID news

企画・編集：本部情報委員会

JID News 担当理事 清家淳一

JID News 委員長 八十常充

// 委員 山崎晶

// 関東事業支部 佐藤健一

// 中部事業支部 小林修

// 関西事業支部 塚口眞佐子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

去る2月18日清家デザイン事務所に、名古屋で行われる「センス展」出品予定の関西事業支部会員数名が集まり、中部事業支部の金田美世、出水裕子、金子妙子各氏から「センスのあるインテリア展」の話をお伺いしました。企画から実行までの経過や扇子作りのご苦労話、後を継ぐ職人が居なく扇子作りの将来は…など。

それにしても中部事業支部は元気です。

お話の迫力に圧倒されて、まだ出品を迷っていた人も全員出品することになりました。

本号の巻頭にも、中部国際空港、愛・地球博のオープンと、このところ元気な名古屋を取り上げています。

中部事業支部の皆さん、「センスのあるインテリア展」と6月総会の成功をお祈りしています。

八十常充

*情報委員会ではJID News編集メンバーを募集しております。興味のある方は八十までご連絡下さい。

No.227

発行日：平成17年3月31日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所